

令和6年 2月 6日

西部農林水産振興センター益田農業部

標 題

西部子牛市場の初セリ 知事のトップセールスと生産者への激励！

(ダイジェスト)

令和6年1月16日、西部子牛市場が開設され、西いわみ地区本部といわみ中央地区本部の生産者から152頭が出荷されました。この初セリには初めて丸山知事が西部子牛市場を訪れ、新年のあいさつとともに、厳しい情勢のなか、子牛を出荷した生産者に激励の言葉を送りました。その中でも江津市、益田市の新規就農者2名には、出荷した子牛をみながら「これから牛飼いをしっかり頑張ってもらいたい」と励まされていました。

1月16日、益田市の西部家畜市場で今年の初セリが開設されました。子牛市場には西いわみ地区本部、いわみ中央地区本部の生産者より去勢97頭、雌55頭の計152頭が出荷されました。

丸山知事は、県内外の購買者と生産者、市場開設者のJAしまね石川組合長らと今年の子牛市場の活況と「しまね和牛」の発展を祈念しました。

丸山知事は初めて西部子牛市場へ足を運ばれ、セリ開始前に子牛のつなぎ場で生産者と挨拶を交わされました。その際益田市・江津市の新規就農者2名の出荷した子牛をみながら、「これから牛飼いをしっかり頑張ってもらいたい」と激励の言葉をかけておられました。



また、昨年12月に開催された第2回島根県農業協同組合肉牛枝肉共進会最優秀賞(株)松永牧場の素牛生産者である(農)京村牧場に最優秀素牛生産者賞が贈られました。

全国的に子牛市場価格が下げ相場の中、今回の西部子牛市場は久しぶりに足を運んだ購買者もあり、平均価格は雌489,846円、去勢534,518円で前回より雌は33,346円上がり、持ちこたえた相場でした。

しまね和牛の魅力を県内外の購買者や消費者にもっと知ってもらい、担い手の確保や育成につなげるためにも、西部地区内の和牛改良組合や関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えています。

